

③ 福島県内の交通事故の様子を調べてみましょう。

年	58	59	60	61	62
件数	9,492	9,295	9,410	9,532	9,741
死んだ人	184	199	198	197	198
けがをした人	12,037	11,579	11,761	11,717	12,076

ひとつの交通事故で多くの人が死んだり、けがをしていることがわかります。

(昭和62年いしかわの交通)

④ 交通事故防止と村の人々の協力

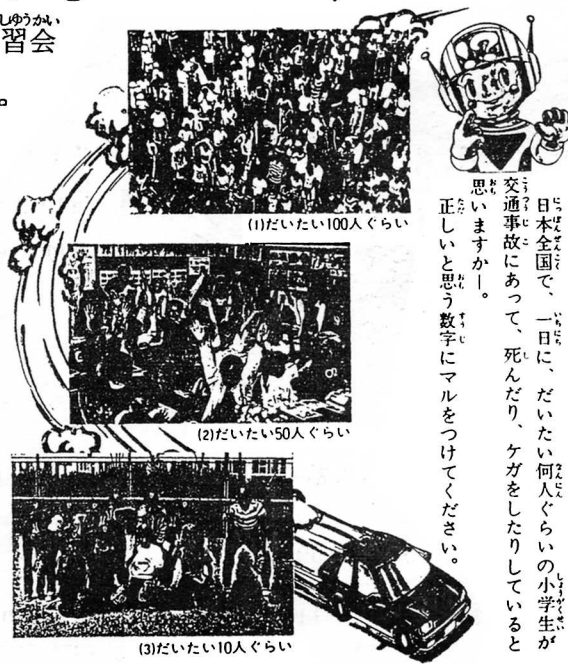
交通事故を防ぐために、村では交通安全対策協議会を作り、道路の曲がり角にカーブミラーをつけたり、交通安全の講習会をひらいたりしています。

各学校では計画的に交通教室をひらいて、交通安全の映画を見せたり、警察の人の話を聞いたり、自転車の正しい乗り方を勉強したりしています。

全国的に行われる交通安全運動の期間には、村の一般の人たちも、きけんな場所に立って子ども達が安全な歩き方ができるように指導しています。

これらは、みな交通事故を防ぐための協力になっているのです。

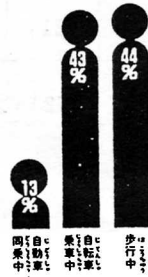
※警察署では、パンフレットを出したりして、事故防止をよびかけています。



一日何人ぐらい？

日本全国で、一日に、だいたい何人ぐらいの小学生が交通事故にあつて、死んだり、ケガをしたりしていると
思いますか？
正しいと思う数字にマルをつけてください。

★「道路を歩いているとき」「自転車に乗っているとき」「自動車に乗せてもらったとき」小学生は、この3つの場合に事故にあつています。それぞれどんなことに気をつけたいか、しっかり考えて、実行しましょう。



●小学生が交通事故にあつるのは、どんなとき？

★ですから、交通安全の学習をしっかりして、安全な行動をとらなければ、いつ交通事故にあつてもおかしいのです。

【答と説明】
きまはしらかして、交通事故にあつて、そんなに起きることはない。と思つているかもしれませんが、毎日、日本のどこかで、だいたい100人ぐらいの小学生が、交通事故にあつて死んだりケガをしたりしています。1年間では、なんと3万5千人以上にもなります。